

なかさと のぶかず / 1959年生まれ。岩手県出身。1984年東北大学医学部を卒業後、同脳神経外科に入局。米国カリフォルニア大ロサンゼルス校、広南病院などを経て、2010年東北大学医学系研究科教授となり当院てんかん科を創設。2011年、てんかん学分野に講座名を変更。2015年より当院てんかんセンター長、2017年より当院生理検査センター部長を兼任。



ペン立て

文房具では最長の46年の戦友です。中学への進学祝いで、自分で選んで買いました。胴体は合成皮革でしょうか。エンボス加工で古いヨーロッパの海図が描かれています。上のリングは外れたので、接着剤で直しました。内底のフェルトは消滅しましたが、外底のフェルトは健在です。中身は使用頻度で替わります。週に一度も使われなければ、即、引き出し行きです。今は、HB鉛筆2本で、あとはすべて1個ずつで、赤青の色鉛筆、黒ボールペン、蛍光ペン、黒マジック、はさみ、ペーパーナイフ、カッター、ホチキス。

この原稿を書くにあたり、あらためて手元で眺めつつ、購入当時を思い出しています。お店はK書店。陸前高田の中心部にあり、津波で流され、今は盛り土の下でしょう。私の家はそこからバスで30分ほど離れていて、40軒ほどの小集落でした。中学では規則で丸坊主。英語は習い始める前。その3年後の盛岡での下宿生活や、6年後の医学部進学、8年後に妻と出会うこと、18年後のアメリカ留学などは、想像できるわけありません。一方で、46年ずっと変わらなかったことは何か。未知の世界への憧れなのかもしれません。ペン立てのデザインの、古い海図を見ているような。